

Mastercam (マスター・キャム) X販売で世界一を継続中のCAD/ CAMソリューションカンパニーのジェービーエム (本社・東大阪市、佐野泰治会長) が1970年の創業以来、この3月で「創業40周年」の佳節を迎えた。40年の歴史は日本の生産財市場の発展と共にあるといっても良い。そこで、創業者の佐野会長に今後の展開も含め、話を聞いた。



(株)ジェービーエム

代表取締役会長 佐野 泰治氏

目標は「世界No.1のソリューションカンパニー」

出会いで築いた信頼と開発力を軸に

「創業40周年、おめでとうございます。創業時はOA業務でスタートしたと聞いていますが、生産財業界に進出したきっかけは。」

「創業当時は、大型コンピュータシステムが日本に普及し始めた頃で、当初はデータインプットや伝票発行業務、コンピュータ改造業務等の請負やオフコン販売を中心としていたが、創業から10年目の80

年に山善さんの誘いで米国国際工作機械見本市の『シカゴショー』を初めて見学した時、鑽孔(さんこう)紙テープが工作機械のNCデータとして活用している現場に出会い、これをヒントにハンディタイプのNC紙テープパンチャー『PS-20』を製品化したことが大きな契機でしたね」

「先読みした事業展開ですね。『私自身、顧客が求めるものをカタチにする』を信条としています。シカゴショーでの体験は大きなヒントになった。『PS-20』は好評を博し、続いてNC専用鑽孔タイプライターを開発、NC工作機械周辺機器メーカーとして、『JB』ブランドが定着。また、FA分野に進出したことで、大手工作

店契約を結び、輸入元として体制を整え、以来、2001年度より連続して販売実績世界第一位を継続中。最近では大学・高校の教材用としても拡販活動を展開している」

「『また、CAD/CAM分野の存在感が高まる中、日本工作機械工業会にも入会しソフトウェア相談会を立ち上げ、現在、理事という職責も拝命している。40年という節目を迎え、お得意先をはじめ代理店や工作機械メーカーの皆様への力強いご支援と社員の懸命な努力の賜物と、心から感謝している」

「『使用できる言語は現在、13カ国語をカバー。翻訳が必要な場合は、日本語で入力しても機械翻訳機能を搭載しているため、指定言語に自動翻訳できるのが特長。この春には、翻訳機能をより拡充し、サービス機能として運営メンバーによる直接翻訳処理を追加、より正確なメッセージを世界に発信できる。当面は日本語/英語(相互変換)環境でスタートし、順次他の言語まで拡大する考えだ。また、進化する生産現場のニーズに対応

『自社開発』を合言葉により高度な生産改革を実現する最適化システムの開発にも着手、現在、実証テストの段階で、秋のJIMTOFで披露する予定だ。JBEMの新しい顔になる製品だ。40年という節目を新たなスタートに、次の50周年を目指し顧客のお役に立てる『世界ナンバー1のCAD/CAMソリューションカンパニー』を全社員一体となって目指す方針だ」

機械メーカーとの信頼関係を築くスタートとなった。その後、市場競争の激化等、厳しい状況に何度か直面したが、新しい技術としてPCソフトの全盛時代が必ず来ると確信し、NCデータ編集ソフトや自動プロセスの開発に取り組み、初のオリジナルソフトとなる対話型自動プログラミングシステムが誕生。またソフト開発に注力した結果、2次元CAD/CAM商品の開

情報交換の場として『JBMワールド・ワイド・フォーラム』をWeb上に立ち上げた。生産現場での様々な疑問や問題、最新技術動向などの情報を共有化し、互いに交流を深める中で、新しいアイデアや課題解決のヒントが生まれるものだ。世界

「『また、CAD/CAM分野の存在感が高まる中、日本工作機械工業会にも入会しソフトウェア相談会を立ち上げ、現在、理事という職責も拝命している。40年という

「『使用できる言語は現在、13カ国語をカバー。翻訳が必要な場合は、日本語で入力しても機械翻訳機能を搭載しているため、指定言語に自動翻訳できるのが特長。この春には、翻訳機能をより拡充し、サービス機能として運営メンバーによる直接翻訳処理を追加、より正確なメッセージを世界に発信できる。当面は日本語/英語(相互変換)環境でスタートし、順次他の言語まで拡大する考えだ。また、進化する生産現場のニーズに対応

「『また、CAD/CAM分野の存在感が高まる中、日本工作機械工業会にも入会しソフトウェア相談会を立ち上げ、現在、理事という職責も拝命している。40年という

「『使用できる言語は現在、13カ国語をカバー。翻訳が必要な場合は、日本語で入力しても機械翻訳機能を搭載しているため、指定言語に自動翻訳できるのが特長。この春には、翻訳機能をより拡充し、サービス機能として運営メンバーによる直接翻訳処理を追加、より正確なメッセージを世界に発信できる。当面は日本語/英語(相互変換)環境でスタートし、順次他の言語まで拡大する考えだ。また、進化する生産現場のニーズに対応

「『また、CAD/CAM分野の存在感が高まる中、日本工作機械工業会にも入会しソフトウェア相談会を立ち上げ、現在、理事という職責も拝命している。40年という